

第3学年 国語科 学習案内

教科の目標

◎中学校の国語科では次のことを目標としています。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

◎中学3年間の国語科では…

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法	
知識・技能	文字や語句についての知識や技能が身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の小テスト・文法・古典等 定期テストの言語事項問題 書写等 	
思考・判断・表現	話すこと・聞くこと	提案や主張など自分の考えを話したり、質問したり評価などを述べたりできる。 互いの考えを生かしながら議論や討論ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言や聞き取り 話し合いや発表 聞き取り問題等
	書くこと	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書くことができる。 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ノートやワークシートへの記入 作文・感想文等 定期テストの記述問題等
	読むこと	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりできる。 詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりできる。 実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ノートやワークシートの内容 定期テストの読解問題等
主体的に学習に取り組む態度	授業に意欲的に参加し、豊かな言語感覚を身につけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への積極的な参加 提出物 国語を学ぼうとする姿勢等 	

第3学年 国語科 学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい	
1 学期	4 ・ 5	春に	・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む。	
		立ってくる春	・表現上の工夫とその効果に注意して読む。	
		なぜ物語が必要なのか	・知識や経験と結びつけて文章を読む。	
		一言でまとめ一言から広げる	・言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。	
		私	・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み内容の理解に役立てる。	
		メディア・リテラシーはなぜ必要か	・論理の説得力を吟味し、自分の考えを形成する。	
		文法の小窓1 漢字の広場1	・文法を理解し、生活に役立てる。 ・漢字の音の歴史についての理解を深める。	
	6 ・ 7	AIは哲学できるか	・文章の内容について検討したり、吟味したりして、筆者の物の見方をとらえ、自分の考えをもつ。	
		具体例をもとに説明文を書く	・読み手に説明するために攻勢を工夫する。	
		バースデイ・ガール	・自分の読書生活を振り返り、様々な本や文章を読む。	
		文法の小窓2 漢字の広場2	・文法を理解し、生活に役立てる。 ・熟字訓についての理解を深める。	
		2 学期	8 ・ 9	薔薇のボタン
	新聞が伝える情報を考える			・新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。
	構成を考えて主張をまとめる			・社会生活の中から課題を見つけ、主張をまとめる。
旅への思い	・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。			
和歌の調べ	・歴史的背景を理解しながら、和歌の響きを味わう。			
風景と心情	・詩の形式や表現の工夫などを理解して、作品の響きを味わう。			
俳句の味わい	・言葉の意味を掘り起こして読む。			
実用文を読む 言葉の小窓1	・実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。 ・語彙力をつけ、表現に生かす。			
10	故郷		・文章を読んで、人間・社会などについて考え、自分の意見をもつ。	
	async		・事例と主張とを関係づけて読む。	
	問いかける言葉		・文章を比べ、評価しながら読む。	
	初恋		・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む。	
	言葉と社会1		・言葉と社会のかかわりを考える。	
11	説得力のある批評文を書く		・資料を比較して、自分の考えを整理する。	
	ニュースで情報を編集する		・ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。	
	漢字の広場3		・異字同訓についての理解を深める。	
12	表現上の工夫を評価してスピーチする		・場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。	
	情報をまとめて作品集を作る		・学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。	
	言葉の小窓2 言葉と社会2		・語彙力をつけ、表現に生かす。 ・言葉と社会のかかわりを考える。	
	3 学期		1	持続可能な未来を創るために
自己PR文を書く				・読み手を意識して適切な言葉を選ぶ。
言葉の小窓3		・語彙力をつけ、表現に生かす。		
漢字の広場4		・四字熟語についての理解を深める。		
2		意見を共有しながら話し合う	・相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。	
		青春の歌	・筆者の考えを理解し、自分の生き方や社会とのかかわり方を考える。	
		やわらかな思い	・語感を磨き、語彙を豊かにする。	
3		対話力とは何か	・文章を読み、考えを広げたり深めたりする。	
		最後の一句	・近代の名作を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	

◎学習計画は、実態に応じて変更になることがあります。

第3学年 社会科 学習案内

教科の目標

◎中学校の社会科では次のことを目標としています。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

◎社会科の内容

歴史的分野	公民的分野
<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の出来事について事項を厳選し、時代間のつながりを意識して、我が国の歴史の大きな流れを理解できるようにします。 学び方や調べ方を身につけ多面的・多角的な見方を身につけられるような学習をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深め、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を身につけます。 地理・歴史の学習を通じて習得した知識・概念や技能を活用して、現代社会で起きていることを理解し、自分の考えを持って適切に表現する能力と態度を身につけます。

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
社会的な知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取組 定期テスト・単元テスト ノート・ワークシート 学びの足跡 作成した資料など
社会科的な思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて、選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取組 定期テスト・単元テスト ノート・ワークシート 学びの足跡 作成した資料など
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて、涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組 定期テスト・単元テスト ノート・ワークシート 学びの足跡 作成した資料など

第3学年 社会科 学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> 近代の日本と世界 明治維新 日清・日露戦争と近代産業 	<ul style="list-style-type: none"> 急速な近代化を遂げた日本の国際的な地位の向上と、国民生活の変化を理解する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> 二度の世界大戦と日本 第一次世界大戦 世界恐慌と日本の中国侵略 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の動きを理解する。 国際情勢を背景に、太平洋戦争へと向かっていく日本の状況を理解する。 第二次世界大戦の情勢や戦時下の国民生活などの学習を通して、大戦の及ぼした惨禍を理解し、平和な社会を築くことの大切さに気付く。
	6	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の情勢や戦時下の国民生活などの学習を通して、大戦の及ぼした惨禍を理解し、平和な社会を築くことの大切さに気付く。
	7	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本と世界 日本の民主化と国際社会への復帰 国際社会と日本 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の日本の民主化や再建を、冷戦などの国際情勢を背景に理解する。 冷戦終結後の国際情勢と、我が国の役割について理解する。
2 学 期	9 10	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と現代社会 現代社会とわたしたちの生活 私たちの生活と文化 現代社会の見方、考え方 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化、情報化、少子高齢化などの現代日本の特色と、現代社会における文化の意義や影響について理解する。 人間が社会的存在であることに着目し、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。
		<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重と日本国憲法 人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の基本原理(基本的人権の尊重・国民主権・平和主義)を、理解する。 日本国憲法で保障されている基本的人権について理解し、人権を守っていこうとする態度を身につける。 社会の変化とともに人権概念が変化することに気付く。
		<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主政治と社会 現代の民主政治 国の政治のしくみ 地方の政治と自治 	<ul style="list-style-type: none"> 議会制民主主義について理解し、主権者として政治に参加することの意義を考える。 立法、行政、司法のしくみについて理解し、公民として必要な知識を身につける。 地方自治について、具体的な事例などを通して理解する。
	11 12	<ul style="list-style-type: none"> 私たちのくらしと経済 くらしと経済 生産と労働 価格の動きと金融 国民生活と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活の理解を通して自立した消費者としての基礎を身につける。 企業のしくみや役割を理解するとともに、労働についての考えを深める。 市場経済のしくみや金融について理解する。 財政や租税のしくみを理解し、その役割や意義について考える。 統計資料など資料の読み方や活用についての技能を身につける。
		<ul style="list-style-type: none"> 私たちのくらしと経済 くらしと経済 生産と労働 価格の動きと金融 国民生活と福祉 地球社会とわたしたち 国際社会と世界平和 国際問題とわたしたち 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活の理解を通して自立した消費者としての基礎を身につける。 企業のしくみや役割を理解するとともに、労働についての考えを深める。 市場経済のしくみや金融について理解する。 財政や租税のしくみを理解し、その役割や意義について考える。 統計資料など資料の読み方や活用についての技能を身につける。 国際社会の現状と国際協力などの動きや、我が国の役割について理解する。 地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などさまざまな国際問題について考える
	3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> 地球社会とわたしたち 国際社会と世界平和 国際問題とわたしたち
2		<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の社会科のまとめを行う。
3		<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の社会科のまとめを行う。

第3学年 数学科 学習案内

教科の目標

◎中学校の数学科では次のことを目標としています。

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

◎これらの内容を具体的に4つに分けると…

A 数と式 (平方根・多項式)

数と式領域についての理解を一層深め、文字式による表現や処理の仕方を理解し、具体的な数量関係の考察や問題解決に活用できる能力を養う。

C 数量関係 (二次方程式・二次関数・確率)

二次方程式について文字や解の意味を理解し、解法を自ら工夫して見いだす能力を養う。また、二次関数の位置づけや、今までの学習事項を関連させながら関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。

B 図形 (相似な図形・三平方の定理・円周角)

図形の性質を、数学的な推論によって考察し、論理的に表現する能力を養う。また、いろいろな計量の場面や図形の性質を考察するときに活用できる重要な内容を学ぶ。

D 資料の活用 (標本調査)

母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解できるようにする。簡単な場合の標本調査を行い母集団の傾向をとらえ説明する能力を養う。

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
数学的な知識・技能	知識及び技能の習得状況について評価します。また、それらに関連付けたり活用する中で概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。	I 授業態度 授業には集中して取り組みましょう。忘れ物なども厳禁です。
数学的な思考・判断・表現	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価します。	II 発表 解いた問題の答えや考え方を、みんなの前で積極的に発表してください。
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自分の学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。	III 問題集・ノート 必要に応じ提出してもらいます。提出期限を守りましょう。
		IV 宿題・テスト より理解を深めるために宿題を出します。また、理解度を知るために定期的にテストを行います。

第3学年 数学科 学習計画

学年	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	式の展開と因数分解 ・ 式の展開と因数分解	○多項式の乗法や因数分解について学習します。 ・ 多項式の計算をできるようにし、乗法公式にまとめることの有用性に気づき、それを用いて式を展開できるようにします。
	5	・ 式の計算の利用	・ 展開の逆の処理として因数分解をとらえ、因数分解の公式を数の計算や式による証明に利用することができるようにします。
	6	平方根 ・ 平方根 ・ 根号を含む式の計算	○数の世界の拡張。無理数を学習します。 ・ 因数、素数、素因数、素因数分解の意味を理解し、自然数を素因数分解できるようにします。また、平方根の意味や根号の意味を理解し、数の平方根を求めること、根号を用いて平方根を表し、加減乗除ができるようにすること、平方根の大小がわかり、不等号を用いて表すことができるようにします。
	7	二次方程式 ・ 二次方程式 ・ 二次方程式の利用	○二次方程式の解と解くことの意味、解法について学習します。 ・ 因数分解によって二次方程式を解くことができる根拠を理解し、完全平方になおしたり、平方根の考えを用いて解いたりすることができるようにします。 ・ 具体的な場面の中の数量の関係から二次方程式をつくり、解の吟味をし、文章題の答を求めることができるようにします。
2 学 期	8	関数 $y = a x^2$ ・ 関数とグラフ	○事象の中から $y = a x^2$ の関係にある数量を見だし、式に表せるようにします。
	9	・ 関数 $y = a x^2$ の値の変化 ・ いろいろな事象と関数	・ $y = a x^2$ のグラフとその特徴、変域の対応について理解し、変化の割合の意味とその求め方を理解し、平均の速さと変化の割合を求められるようにします。
	10	図形と相似 ・ 図形と相似 ・ 平行線と線分の比 ・ 相似な図形の計量 ・ 相似の利用	○平面図形の性質を相似条件などを基にして確かめていきます。 ・ 相似な図形の性質を理解し、活用できるようにします。また、三角形の相似条件を理解し、それを利用して相似な三角形を見いだすことができるようにします。
	11		・ 平行線と線分の性質を使って、いろいろな線分の長さを求めることができるようにします。
	12	円周角	○円周角の定理と、その逆を理解・活用できるようにします。
3 学 期	1	三平方の定理 ・ 三平方の定理 ・ 三平方の定理の応用	○三平方の定理を、3つの辺の長さの関係としてとらえることができるようにします。 ・ 三平方の定理を理解し、それを利用して直角三角形の2辺の長さを知って、残りの辺の長さを計算によって求めることができるようにします。 ・ 三平方の定理の逆を理解し、3辺の長さを知って、その三角形が直角三角形かどうかを判断できるようにします。
	2	標本調査	○標本調査により母集団の性質を調べることができるようにします。
	3	1年間のまとめ	○1年間の学習を振り返ります。

第3学年 理科 学習案内

教科の目標

◎ 中学校の理科では次のことを目標としています。

『自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせて、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指す』

◎ 理科の内容

単元	
1 生命の連続性	4 運動とエネルギー
2 化学変化とイオン	5 自然と人間
3 地球と宇宙	

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象に対する概念や原理・法則の基本的な理解 科学的探究についての基本的な理解 探究のために必要な観察・実験等の基本的な技能 	<p>定期テストなどで知識・理解の程度を調べます。予習、復習にしっかり取り組みましょう。</p> <p>観察・実験のレポートを提出してもらいます。きちんとまとめて締め切りを守りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験への取組（発言、態度、技能等） 実験プリント、ノート（グラフ等） 定期テスト
思考、判断、表現等	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象の中に問題を見いだして見通しをもって課題や仮説を設定する力 計画を立て、観察・実験する力 得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する力と科学的な根拠を基に表現する力 探究の過程における妥当性を検討するなど総合的に振り返る力 	<p>調べたこと（思考）、気づいたこと（判断）、わかったことは積極的に発表・まとめ（表現）をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業への取組（発言、態度、思考等） 実験プリント、ノート（考察等） 定期テスト レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自然を敬い、自然事象に進んでかわかる態度 粘り強く挑戦する態度 日常生活との関連、科学することの面白さや有用性の気付き 科学的根拠に基づき判断する態度 小学校で身に付けた問題解決の力などを活用しようとする態度 	<p>授業に積極的に参加しましょう。忘れ物に気をつけ、振り返りレポートやプリントで粘り強く取り組みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業への取組（発言、態度等） 提出物（ノート、授業プリント、ワーク、実験プリント等） 振り返りレポート

第3学年 理科 学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	生命の連続性 1章 生物の増え方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生物についての観察・実験を通して、生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解し、生命の連続性についての認識を深める。 生物の成長や生殖を細胞レベルでとらえ、細胞分裂の様子や、植物・動物の生殖、親から子に形質が伝わるしくみについて学習することにより、生命の連続性が保たれることを理解し、生命を尊重する態度を育てる。
	5		
	6		
	7	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸、アルカリと塩	
2 学 期	8	地球と宇宙 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	<ul style="list-style-type: none"> 身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解する。 太陽系や恒星など宇宙についての認識を深め、天体および宇宙への興味・関心を高める。
	9		
	10	運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー	
	11	4章 多様なエネルギーとその移り変わり	
	12	5章 エネルギー資源とその利用	
3 学 期	1	自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境について調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解する。 自然の恵みと災害について調べることを通して、自然と人間のかかわり方について、日常生活や社会と関連づけて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。
	2		
	3		

第3学年 グローバル・スタディ科 学習案内

教科の目標

◎中学校のグローバル・スタディ科では次のことを目標としています。

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

◎グローバル・スタディ科第3学年のコミュニケーション能力のGOAL

(1) 相手（話し手、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。

(2) 伝えたい物事を論理的に、自分の言葉で発信することができる。

[学習のしかた]

- ① 授業を大切にしましょう。授業に集中し、深く考え、積極的に自分の考え・意見を発表しましょう。
- ② 英語は模範をまねしながら、発音を意識し何度も声に出して読みましょう。
- ③ 新しい単語や表現は、たくさん使って覚えましょう。
- ④ 出された宿題や課題は、期限を守って必ず出しましょう。

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言語やその運用についての知識(文法・単語)が身に付いている。 ・使用する言語材料の提示なしに、事実や自分の考えなどを話したり、書いたりすることができる技能が身に付いている。 ・音声の特徴を捉え話することができる。 ・話されたり書かれたりする文章等を読んだりして、その内容を捉える技能が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気持ちなど、伝えたいことを自分で考えて文を構成し、話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。 ・まとまりのある英文を聞いたり、読んだりして、場面、状況に応じて、概要、要点などを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・スピーキングテスト ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・授業に取り組む様子 ・ふり返しシート ・自己評価シート ・コミュニケーション活動の取組 など

第3学年のコミュニケーション学習の到達目標 (CAN-DO リスト)

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
① 自分の周りで話されているなどについて少し長めの議論でもその要点を理解することができる。 ② 簡単なスピーチなどを聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。 ③ 外国の行事、習慣などに関するまとまりのある英文を聞いて、概要を捉えることができる。	① 日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出しすることができる。 ② あらかじめ学習を目的として書かれた記事や話の要点を理解することができる。 ③ 英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。	① ある話題について、賛成・反対といった複数の視点から理由を挙げて、即興的に意見を述べるることができる。 ② 身近なトピックについて、自分の意見や考えをわかりやすく話し、情報交換したり、会話を続けたりすることができる。	① ある話題について、賛成・反対といった定められた視点から理由を挙げて、順序立て、意見を述べるることができる。 ② 使える表現をつないで、自分の主張を順序立て、分かりやすく話すことができる。	① 聞いたり読んだりした内容について、感想や意見などを書くことができる。 ② 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、筋道を立て、文章を書くことができる。 ③ 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちを書くことができる。

学習計画

学期	月	単元名 ○数字は Program 番号 ☆は主に ALT との授業テーマ	学習の内容・活動
1 学期	4	辞書を使いこなそう ① Bentos Are Interesting! ☆ Let's Discuss For Our School Food Festival (国際フェスティバルに出店する外国の食べ物について話し合おう) Word Web1 家の中と外	○ ask [tell / want]~to... ○ It is~ (for+人) to...
	5	② Good Night. Sleep Tight. ☆ School's Health Committee (保健委員の一員として自分の考えや意見を伝え合おう)	○ 主語+be 動詞+形容詞+that~ ○ 間接疑問文
	6 7	道案内 (電車の乗り換え) ③ A Hot Sport Today ☆ Do You Know in Japan...? (日本で人気のスポーツを紹介しよう) ● Our Project 7 記者会見を開こう	○ 路線図を見ながら道案内する ○ 主語+動詞+目的語+補語
2 学期	8	● Faithful Elephants ☆ Reading1 Do You Know This Story? (ブックレポートを作成しよう)	○ 現在分詞、過去分詞 (形容詞としての用法) ○ 関係代名詞 (主格) ○ 関係代名詞 (目的格・省略) ○ ディスカッションで一番良いPRを決める ○ 仮定法過去、接続詞 ○ 文の構成を考えながら相手にわかるように説明する
	9	Power-Up2 買ったものを交換しよう ④ Sign Languages, Not Just Gestures! ☆ What Is the Best Thing in Japan? (日本をテーマにしたディベート大会の準備をしよう)	
	10	Power-Up3 ホームページで学校を紹介しよう ⑤ The Story of Chocolate ☆ The History of Food (なじみ深い食べ物について得た情報を論理的に相手に伝えよう)	
	11	Word Web2 動詞の使い分け ⑥ The Great Pacific Garbage Patch ☆ Future Leaders Debate (SDGsをテーマにしたディベートを行おう) ● Our Project 8 (あなたの町を世界にPRしよう)	
	12	Power-Up4 非常時のアナウンスを聞こう ⑦ Is AI a Friend or an Enemy? ☆ What Would You Do If You Had One Wish? (テーマについてスピーチしよう) ☆ Reading2 Active Reading (Malala's Voice for the Future)	
3 学期	1	Special Project 中学校の思い出を残そう Word Web3 オリンピック競技・パラリンピック競技 Further Reading1 The Ig Nobel Prize Further Reading2 Library Lion	○ 思い出が紹介できる ○ イグノーベル賞について読み、自分の考えや感想を伝え合う。 ○ 「としょかんライオン」を読んで、理解する
	2	Reading Steps	

CAN-DO リスト

Program 1 Let's Discuss for Our School Food Festival [Conversation PT] (話すこと[やり取り])

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> 「〇〇は(～にとって)…だ」等の表現を理解できた。	<input type="checkbox"/> 自分がすすめる食べ物について、意見を伝えることができた。	<input type="checkbox"/> 自分がすすめる食べ物について、意見を伝えようとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> 質問をしたり、コメントを述べたり、自分の意見と比較できた。	<input type="checkbox"/> 相手のすすめる食べ物について、反応することができた。	<input type="checkbox"/> 相手のすすめる食べ物について、反応しようとした。
C どれもできていない。		<input type="checkbox"/> 相手の意見を深める質問ができた。	<input type="checkbox"/> 相手の意見を深める質問をしようとした。

Program 2 School's Health Committee [Conversation PT] (話すこと[やり取り])

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> 「だれが～したか…」 「いつ～したか…」等の文の使い方を理解できた。	<input type="checkbox"/> 健康への取組について、情報や自分の意見を伝えることができた。	<input type="checkbox"/> 健康への取組について、情報や自分の意見を伝えようとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> インタビューやディスカッションで伝えられた情報、考え、意見などを理解できた。	<input type="checkbox"/> 相手の話を聞き、反応を返ししながら、相手の意見を深めるための質問ができた。	<input type="checkbox"/> 相手の話を聞き、反応を返ししながら、相手の意見を深めるための質問をしようとした。
C どれもできていない。	<input type="checkbox"/> 友人からの質問に答えることができた。	<input type="checkbox"/> 健康を守るための要望を話し合いでまとめることができた。	<input type="checkbox"/> 健康を守るための要望を話し合いでまとめようとした。

Program 3 Did You Know in Japan...? [Writing PT] (書くこと)

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> 「～を…と呼ぶ」「～を…にする」を用いた文を書けた。	<input type="checkbox"/> 自分の選んだテーマについて、調べた情報を書くことができた。	<input type="checkbox"/> 自分の選んだテーマについて、調べた情報を書こうとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> まとまりのあるスピーチの構造が分かった。	<input type="checkbox"/> 自分の選んだテーマについて、自分の考えを書くことができた。	<input type="checkbox"/> 自分の選んだテーマについて、自分の考えを書こうとした。
C どれもできていない。			

Reading 1 Do You Know This Story? [Writing PT] (書くこと)

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> あらすじや大切な部分などを読み取ることができた。	<input type="checkbox"/> 話の登場人物、設定、舞台について、ブックレポートにまとめることができた。	<input type="checkbox"/> 話の登場人物、設定、舞台について、ブックレポートにまとめようとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> 伝えたいことが読んだ人に伝わるような正しい英語で書けた。	<input type="checkbox"/> 話の内容について、自分の意見を書くことができた。	<input type="checkbox"/> 話の内容について、自分の意見を書こうとした。
C どれもできていない。		<input type="checkbox"/> 論理的なブックレポートを書くことができた。	<input type="checkbox"/> 論理的なブックレポートを書こうとした。

Program 4 What Is the Best Thing in Japan? [Conversation PT] (話すこと[やり取り])

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> くわしい説明を加える表現を使いながら自分の主張を行った。	<input type="checkbox"/> 相手に分かりやすいよう、日本文化について、伝えた。	<input type="checkbox"/> 相手に分かりやすいよう、日本文化について、伝えようとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> ディベートで自分の考えを論理的に伝えた。	<input type="checkbox"/> 自分の考えに理由をつけて述べた。	<input type="checkbox"/> 自分の考えに理由をつけて述べようとした。
C どれもできていない。	<input type="checkbox"/> 相手の主張を理解することができた。	<input type="checkbox"/> 相手の主張に対して適切な応答ができた。	<input type="checkbox"/> 相手の主張に対して適切な応答をしようとした。

Program 5 Debate Tournament: The Best Japanese Food [Conversation PT] (話すこと[やり取り])

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> 食べ物について、くわしく説明できた。	<input type="checkbox"/> 食べ物について、根拠のある主張ができた。	<input type="checkbox"/> 食べ物について、根拠のある主張をしようとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> 食べ物について、自分の主張ができた。	<input type="checkbox"/> 相手の主張について、理由をつけて問答した。	<input type="checkbox"/> 相手の主張について、理由をつけて問答しようとした。
C どれもできていない。	<input type="checkbox"/> 相手を説得できるように様々な理由や情報を含めて意見を述べることができた。	<input type="checkbox"/> 審査員として、説得力のある理由をつけてジャッジした。	<input type="checkbox"/> 審査員として、説得力のある理由をつけてジャッジしようとした。

Program 6 Future Leaders Debate [Conversation PT] (話すこと[やり取り])

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> 関係代名詞の目的格 (which/that/省略) を用いた文の特徴やきまりを理解していた。	<input type="checkbox"/> ディベートで人やものについて詳しく説明することができた。	<input type="checkbox"/> ディベートで人やものについて詳しく説明しようとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> ディベートで人やものについて詳しく説明することができた。	<input type="checkbox"/> 国際会議の代表として、自分の考え方や意見が伝わるよう工夫して話した。	<input type="checkbox"/> 国際会議の代表として、自分の考え方や意見が伝わるよう工夫して話そうとした。
C どれもできていない。		<input type="checkbox"/> 相手の考え方や意見に対して自分の意見を述べることができた。	<input type="checkbox"/> 相手の考え方や意見に対して自分の意見を述べようとした。

Program 7 What Would You Do If You Had One Wish? [Presentation PT] (話すこと[発表])

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
A 全てができています。	<input type="checkbox"/> 「もし〜だったら」という言い方が分かった。	<input type="checkbox"/> 自分の願いごとをわかりやすく話すことができた。	<input type="checkbox"/> 自分の願いごとをわかりやすく話そうとした。
B 1つ以上できている。	<input type="checkbox"/> もしひとつだけ願いがかなうとしたら何をしたいか、自分の考えや理由を話すことができるようになった。	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちや考え、理由をわかりやすく話すことができた。	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちや考え、理由をわかりやすく話そうとした。
C どれもできていない。			

第3学年 音楽科 学習案内

◎中学校の音楽科では次のことを目標としています。

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽分野と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

◎中学3年生の音楽科では…

表現・鑑賞

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにします。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにします。
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養います。

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」をもとに達成を目指します。

白幡中の音楽科はこんな授業です！

◎混声合唱を目指し、さまざまな歌を楽しく歌っていきます。

◎DVD、CD、PCなどを活用し、音楽鑑賞を楽しんで学習していきます。

◎合唱祭への取り組みでは、クラスみんなで協力しながら練習し、合唱を作り上げていきます。

◎授業持ち物

- ・教科書(3冊)
- ・合唱曲集
- ・ファイル(各種プリント保存用)
- ・筆記用具
- ・ワーク

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けられている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽の評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・創作発表 ・授業中の活動 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度が養われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組(持ち物等) ・授業中の姿勢、発言 ・各種提出物(ワークシート等)

第3学年 音楽科 学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	さあ、歌おう！ ・歌 「校歌」「花」「荒城の月」 など	<ul style="list-style-type: none"> 歌う姿勢、口の形、呼吸の仕方など基礎的な技能を学びながら楽しく歌う。 歌詞の内容、曲想を感じ取り言葉のリズムや旋律を意識しながら表現を工夫して歌う。
	5		
	6	アンサンブルを楽しもう ・ボディパーカッション 「ジョイフル・コンビネーション」 祖国を想う音楽 ・音楽鑑賞 「ブルタバ（モルダウ）」	<ul style="list-style-type: none"> 互いのパートを聴き合いながら、アンサンブル演奏の技術を身につける。 全員で音楽をつくりあげ、アンサンブルすることの楽しさを知る。 音楽がつくられた背景を理解し、曲想から情景を思い浮かべる。 曲全体の構成を考えながら、良さを味わって鑑賞する。
	7	混声合唱に親しもう ・合唱祭へ向けて	<p>合唱祭の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 「パートリーダー」「指揮者」「伴奏者」を中心に進んでクラス合唱活動に自主的に取り組む。 良い歌声にするために、姿勢、呼吸（腹式呼吸）、発声に気を配りながら練習する。 合唱の美しいハーモニーを響かせる練習をみんなで協力する。 合唱祭を目指し、並び方を工夫し、お互いのパートを聴きあいながら心を一つにして歌おう！ お互いの演奏を鑑賞しあうことで様々な合唱曲に触れ、良さを味わう。
2 学期	9	・クラスで選んだ合唱曲の 取り組み	
	10		
	11	日本の伝統芸能に親しもう ・音楽鑑賞 歌舞伎「勧進帳」	<ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能のよさや美しさを味わい、音楽の特徴の背景となる、文化・歴史、他の芸術とも関連付けて鑑賞する。
	12	時代とともに生きた音楽 ・音楽鑑賞 「アイダ」	<ul style="list-style-type: none"> ギターの音色や特徴的な奏法による豊かな表現を聴き取る。 独奏楽器とオーケストラの関係を理解する。 歌とオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わう。
3 学期	1	心をこめて表現しよう ・混声合唱 「帰れソレントへ」 「旅立ちの日に」 「校歌・君が代」	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容をよく味わい、曲想にあった表現を工夫して歌う。 中学校3年間のまとめとして混声合唱を協力して作り上げる。 旋律のまとまりや、強弱の設定を確かめて表現する。 歌詞の内容をよく味わい、パートの役割をよく理解して表現を工夫する。
	2		
	3		

第3学年 美術科 学習案内

教科の目標

◎中学校の美術科では次のことを目標としています。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術かに関わる資質・能力を次のように身につける。

- (1)対象や事象をとらえる造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

表 現	鑑 賞
<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、考えたこと、夢・想像や感情などの心の世界をもとに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・構成や装飾、伝える・使う目的や条件をもとに用いる場面や環境、社会とのかかわりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて、調和のとれと美しさなどから総合的に考え、表現の構想を練る。 ・発想や構成したものをもとに、材料や用具の特性をいかし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを統合的に考えながら創造的に見直しをもって表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品などの造形的なよさや美しさ、または、目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方、感じ方を深めること。 ・身近な環境の中にみられる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 ・日本の美術作品や受け継がれてきた伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに諸外国の美術や文化との相違、共通点に気づき、国際理解や美術文化について考え、見方や感じ方を深める。
共通事項「知識」 <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 ・造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などでとらえることを理解すること。 	

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
知識・技能	用具の使い方が表現したい内容に応じて工夫できること。表現技法を作品に生かせること。	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を適切に扱えること。(鉛筆・絵具・筆・ナイフ等) ・それぞれの画材の表現技法を効果的に生かせる。 ・奥行きや立体感が表現できる。量感や質感を表現できる。 ・基本的な描画法の習得 ・用具の準備や後片付けの仕方が適切等。 ☆定期試験は行わない。作品、作品カード、鑑賞プリント
思考・判断・表現	課題の意図を理解すること。数多くアイデアスケッチをする、何度も書き直して構想を練ることなど。作業手順を理解し、計画的な制作の構想を練ることができる。技法を工夫して表現すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解し、アイデアを出す。 ・制作の構想をねる(作業手順を理解しているか) ・アイデアスケッチまたは下書きで表したいものを描く。 ・配色の構想を練る。 ・構図の工夫と形の観察力。 ・完成作品の構想が下書きでできる。 ・制作過程の構想ができる。 ☆定期試験は行わない。鑑賞カード、アイデアスケッチ
主体的に学習に取り組む態度	制作や鑑賞を通して、美術的な関心や制作への集中力。工夫、試行錯誤を繰り返す、完成まで根気よく制作すること。必要な資料や用具の準備状況など。	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料や用具の準備。特に作品のアイデア、下書きのための参考資料は自分で用意することができる。 ・制作中の集中度。課題への積極的な興味・関心度。 ・用具の準備、片づけ ・提出物の状況 ・観賞資料への関心 ☆毎時間の振り返りカード、授業の受け方

第3学年 美術科 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・教科書から学ぶ（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年として、あらためて、美術を学習する意義を理解しよう。美術は何のためにあるのか、個人や社会の中で、どんな役に立っているのかを考えよう。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「空想は現実を超えて」（絵画・鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢、想像や感情などの空想や心に広がる世界などを考えたり広げたりしながら主題を生み出そう。 ・主題を基に新たなことを想像したり、さらに組み合わせたり広げたりしながら構想を練ろう。 ・絵の具などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表そう。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「仏像に宿る心」（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、顔や手の表情がもたらす効果や、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさを感じ取ろう。 ・時代や種類、作者による特徴などを理解し、作品から受ける思いについて意見を述べ合おう。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・「空想は現実を超えて」（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（続き） ・自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、根拠を明らかにして意見を述べたり批判したりし合おう。
2 学期	8	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の美意識」（立体） 	<ul style="list-style-type: none"> ・心で捉えた感情やイメージなどから主題を生み出そう。 ・主題を基に形や色彩、創造的な構成を工夫するなどして表現の構想を練ろう。 ・材料や用具の特性を生かして表現方法を追求しながら立体に表そう。 ・互いの作品を鑑賞し合い、主題をどう表したいのかや表現の意図や工夫などについて話し合おう。
	9		
	10		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・あの日を忘れない（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合おう。 ・作者が作品を通して訴えたいことは何なのか、時代や社会的背景なども視野に入れ作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え、意見を述べ合おう。 ・社会における美術の力について話し合おう。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分へ贈る卒業記念品」（デザイン・工芸） 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの美術の授業で身に付けたことを生かした、使う場面や飾る場所を考えて主題を生み出そう。 ・造形的な美しさなどを考えて構想を練ろう。 ・材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表そう。 ・自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合おう。 	
1			
3 学期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの作品展（鑑賞） ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度制作したすべての作品を、クラスの中で鑑賞しあおう。友だちの作品の素敵などところを見たり、友だちの制作の意図を聞いたり、学び合おう。
	3		

第3学年 保健体育科 学習案内

◎ 中学校の保健体育科では次のことを目標としています。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動を親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

〈体育分野〉

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

〈保健分野〉

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性や技能の構造やルールを理解しているか評価します。 ・各種の運動技能が身に付いているか、体力が向上しているかを評価します。記録、技能の向上を見ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・学習カード ・定期テスト ・技能テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を見つけ、それに対して工夫ができているか、体育的な考えをしているか、またそれを表現することができるかを評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・授業への取組 ・技能テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に自主的に取り組むとともに、作戦などの話し合いに貢献しようとしているか評価します。 ・相手を尊重するなどフェアなプレイを大切にし、互いに助け合い教え合いができていないか評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・学習カード

第3学年 保健体育科 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	・集団行動	・集団行動を通して安全な授業を進めるための約束事を身に付ける。
	5	・新体力テスト ・体づくり運動	・各種目の体力テストを通し、自分の課題を見つけ克服する態度を身に付ける。
	6	・球技Ⅰ (ネット型・ベースボール型) (領域選択)	・基本的な技能を身に付け、試合の運営ができるようにする。生涯にわたり積極的に運動に親しむ資質や能力を身に付ける。
	7	・水泳 ・器械運動 マット運動・跳び箱運動	・各泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだりする。 ・今できる技を楽しんだり、よりよくできるようにする。できない技の練習の仕方を工夫したり、仲間と協力し合う態度を身に付ける。
2 学期	8	・体づくり運動 ・体育祭	・行事に向け、クラスで団結する。
	9	・ダンス	・リズムに乗って仲間と自由に踊ることを楽しむ。
	10	・陸上競技 (短距離走・リレー) (走り幅跳び・ハードル)	・自己の能力に適した課題を持ち、技能を高めたり記録の向上の喜びを味わう。
	11	・長距離走	・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。
3 学期	1	(種目選択) ・武道 柔道・剣道	・伝統的な行動の仕方や基本動作、対人技能を身に付ける。
	2	(種目選択) ・球技Ⅱ (ゴール型)	・チームの課題や自己の能力に適した課題を見付け、攻防の作戦を立て勝敗を競い合う過程や結果に楽しさや喜びを味わう。
	3		
通年		・ 保健	・ 「健康と環境」 ・ 「健康な生活と疾病の予防」
		・ 体育理論	・ 「文化としてのスポーツの意義」

第3学年 技術・家庭＜技術分野＞ 学習案内

◎技術分野の学習目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

◎技術分野の内容 _____部分が3年生で学習する内容

A 材料と加工の技術 (1)生活や産業の中で利用されている技術 (2)材料と加工法 (3)材料と加工に関する技術を利用した製作品 の設計・製作	B 生物育成の技術 (1)生物の生育環境と育成技術 (2)生物育成に関する技術を利用した栽培
C エネルギー変換の技術 (1)エネルギー変換機器の仕組みと保守点検 (2)エネルギー変換に関する技術を活用した製 作品の設計・製作	D 情報の技術 (1) <u>情報通信ネットワークと情報モラル</u> (2) <u>デジタル作品の設計・製作</u> (3) <u>プログラムによる計測・制御</u>

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

	評価の観点	評価の方法
知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	授業態度・提出物・レポート ・定期テスト ・作品 ・ワークシート、レポート
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	授業態度・提出物・レポート ・作品 ・定期テスト ・ワークシート、レポート ・授業の取組状況
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	作品・実技・提出物・レポート ・作品 ・ワークシート、レポート ・授業の取組状況

第3学年 技術・家庭科（技術分野） 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	<情報> ・情報通信ネットワークと情報セキュリティ ・情報モラルと知的財産 ・デジタル作品の制作①	・情報通信ネットワークのしくみを知り、コンピュータの基本的な操作ができる。 ・情報を扱う際のモラルの必要性と知的財産の保護について理解し、情報の適切な利用について考える。
	5		
	6		
	7		
2 学期	8	・プログラムによる計測・制御 ・ロボットを動かそう	・目的や条件を考え、構想、設計することができる。 ・計測制御の基本的なしくみを理解する。 ・処理する手順を知り、目的に合ったプログラムを作成し、シミュレーションすることができる。
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	・双方向性のあるコンテンツ ・情報社会を生きるために	・自分の将来や生き方への活用のしかたを考える。
	2		
	3		

第3学年 技術・家庭〈家庭分野〉 学習案内

教科の目標

◎中学校の技術・家庭「家庭分野」では次のことを目標としています。

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

◎家庭分野の内容 部分が3年生で学習する内容

A. 家族・家庭生活

- (1) 自分の成長と家族
- (2) 幼児の生活と家族
- (3) 家族・家庭や地域との関わり
- (4) 家族・家庭生活についての課題と実践

B. 衣食住の生活

- (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事
- (3) 日常食の調理と地域の食文化
- (4) 衣服の選択と手入れ
- (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- (6) 住居の機能と安全な住まい方
- (7) 衣食住の生活についての課題と実践

C. 消費生活・環境

- (1) 金銭の管理と購入
- (2) 消費者の権利と責任
- (3) 消費生活・環境についての課題と実践

☆ 次の「学習計画」「評価の観点と方法」をもとに、目標の達成を目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<u>授業態度・提出物・レポート</u> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・ワークシート、レポート
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<u>授業態度・提出物・レポート</u> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・定期テスト ・ワークシート、レポート ・授業の取組状況
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<u>作品・実技・提出物・レポート</u> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・ワークシート、レポート ・授業の取組状況

第3学年 家庭科 学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	身近な消費生活と環境 ・消費生活について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 商品の選択と購入方法について学習します。 消費生活と環境について学習します。
	5		
	6	家族・家庭と子どもの成長 ・中学生になるまでを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長を振り返り、家族や家庭生活とのかかわりについて考えます。
	7		
2 学期	8	家族・家庭と子どもの成長 ・幼児の生活、遊びについて ・子どもの成長について ・幼児との交流しよう ・交流を振り返ろう ・幼児の生活に役立つものを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長を振り返り、家族や家庭生活とのかかわりについて考えます。 幼児の生活と遊び、幼児の成長について知ります。 課題をもって幼児と交流し、幼児への理解を深めます。 課題をもって幼児と交流し、幼児への理解を深めます。 命の大切さを学びます。 幼児の生活に役立つものを作ります。
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	・日常食の調理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な日常食の調理ができるようにします。(肉・野菜) 食品や調理器具の安全な扱い方と調理技能を身につけます。
	2		
	3		